

学校教育に演劇的活動を取り入れる

甲南女子大学日本語日本文化学科 富田幸子

1. はじめに

青年期の入口である思春期真只中にいる子どもたちは、自分の意見発表を苦手とすることが多い。まだ揺るぎない価値観も形成できず、たえず他者の目を気にする傾向がみられる子どもたちは、間違っただけを言うのが恥ずかしく、自分の意見が相手にどう思われるのか、受け入れられるかどうかを気にしている。そうした思春期特有の傾向が、意見発表への苦手意識をうんでいる。ところが、演劇という活動の場における台詞は役柄を通して言うものである。そのため「この人だったら・・・」と、他者の立場からのびのびと意見を言うことが可能である。平田・蓮行(2009)¹⁾は、劇の台詞は自分の意見であって同時に自分の意見ではないものであり、誘導次第で意見が出やすい場が作れるため、国語の授業で演劇的な活動を取り入れることには大きな学習効果があることを指摘している。

大学生にこれまでの演劇的な活動を振り返らせると、「小学校での学芸会以来演じる活動はなかった」、「自分自身に取り組んだことがないし、舞台演劇を見た経験もない」という声の一部が聞かれる。ただ、舞台を使うといった大掛かりな準備を必要とする演劇活動の減少という傾向があるものの、他者になって演じるという演劇的要素を取り入れた取り組みは「国語などの教科学習や文化祭での劇の上演などの学校行事、近年よく取り組まれているワークショップといった社会参加での活動など、主体的に想像し表現する活動が、さまざまな形態で、数多く存在」(中野、2001)²⁾している。例えば、総合的学習の時間や特別活動を使った演劇的活動の取り組みであり、ロールプレイングや寸劇、インプロなど、舞台装置を伴わない、短時間で取り組まれる形態での活動である。

2. 大学での演劇的取り組み

短時間で取り組める演劇的活動として、筆者は教職課程の講義の中で、2022年度、ロールプレイングに取り組む機会を設けた。学校現場では生徒だけでなく、保護者や地域の人々、時には教師間での意見の相違など、様々なトラブルや対立が起こりがちである。教師を目指す学生にとって、そうしたトラブル場面を想像できても、その解決方法を考える機会はほとんどないため、自分に対応できるのだろうかという不安を抱くのは至極当然である。

そこで、5人前後のチームを組み、学校現場でのトラブル場面をケースメソッドの学習として取りあげた。教員から課題として与えられるトラブル場面に対して、考えられる対応をチームで話し合い、他者になって演じるロールプレイングという方法で取り組ませた。

与えられたケースにはどのような問題があるか、それが起こる背景についても意見交換し、だれがどのように関わるのか、完全な解決とまではいかないまでも、今後こうしていくという道筋が見えるような形で締めくくることが目標とした。さらに、対応の基本姿勢としては、自分の考えを押しつけるのではなく、相手の気持ちを汲み取りまず聞くことからスタートすること、何よりも傾聴を重視することを抑えた。受講生には演劇の経験があるという学生

は少なかったが、教育実習をその年に経験した該当学年だったことから、比較的人前で発表することや自分を表現する今回の活動に戸惑う学生は少なかった。

15回の講義を振り返った時、「場面指導でのロールプレイングの発表が最も印象に残っている学び」と答えた学生の意見を以下に載せてみる。

○今までの講義や教育実習などで授業は行ってきたが、場面指導を行うことはあまりなかったので今回の取り組みは印象に残っています。実際にそのような場面に遭遇した場合のことを想像して何が生徒や保護者にとって最善かどうかを考えるのは難しくもあったが、みんなで考え、演じることは楽しかった。

○学校現場という実際の環境では生徒や保護者との関わりが重要になってくるということを感じています。そのため、その点に関してのロールプレイングに取り組むことで、その場面を想像しながら、どういう対応があるのか深く学ぶことができたと思います。

○一つの議題を取っても、考えられる展開や解決方法が一通りではなく何通りもあります。正解がないからこそ指導法を考えるのにとっても苦戦しました。グループで取り組んだ際は、自分ではすぐに思いつかなかったような他者の発想や考えに触れることも出来ましたし、自身にとっても意欲的な学びになったように感じます。

○これまでで、ロールプレイングは初めての経験でした。与えられた課題は、どれも学校現場での現実的な問題が多かったので、その対処を考えるのはとても勉強になりました。正解がないので、シナリオを作成していく中で、他の人の発想や意見を知ることができ、今回の演じるという活動は、教職だからというより、これから社会人として後輩指導の場面でも生きるんだなと気づき、役立つものと感じとれました。

○場面指導の講義の時間は、自分自身のロールプレイングの練習や脚本作りは勿論ですが、その他にも、他の班の人たちの場面指導がとても印象的でした。実際演じていると、どの場面もいつか自分も経験するかもしれない場面なのだと思うようになり、より一層興味をもてるようになりました。もっと他の場面でもどんな風に解決していくのか考えることも行いたかったと思えるほど、自分にとってとてもよい勉強になった授業でした。

受講生の意見から、今回のロールプレイングを分析すると

1. シナリオを言葉だけでまとめるよりも自分が演技する行為を加えることで綺麗ごとにならない、より現実的な対応をイメージできた。
2. 解決には、絶対なもの、マニュアルというものがあるわけではなく、関わる対象が変われば一つのパターンに縛られないアプローチへと変化するという気付きがあった。
3. 演技することで、その場面が想像しやすくなっただけでなく、他班の演技に対して、自分ならどうするかという比較をしたり、人間関係づくりに役立つ学習になると捉えることができた。

など、発展的な深い学びになっていることがうかがわれた。

3. 中学校での演劇指導の取り組み

筆者自身、前述のような演劇的活動を今も教育現場で積極的に取りあげるのは、A市にお

けるいじめ撲滅劇上演に携わる中で、演劇の有効性を学んだことが大きい。A市のいじめ撲滅劇とは、平成20年度より約12年間、A市全ての中学校の生徒会執行部の中から出演者を募り上演されたもので、筆者は毎年劇の台本制作および演技指導に関わってきた。

いじめは、自分に火の粉が飛んでこないかと心配する中学生にとって、それを止めることは勇気のいる行為である。しかしながら、上演後のいじめ撲滅劇への参加者の中には、いじめへの意識面での変容だけでなく、いじめに対して自分にできることを考え、行動の変容にまで高める生徒がみられた。

演じるという行為は「参加者に現実世界の質的体験をさせることができる」(小林、2006)³⁾のものである。すなわち、単なる知識の習得にとどまらず、目の前のことを自分ごととしてとらえ、自己の内面世界に落としこんでいく。こうしたいじめに対して、少しでも一歩を踏み出そうとする生徒の変容過程を目の当たりにする中で、演劇の持つ有効性、教育的効果を感じとることとなった(富田、2020)⁴⁾。

4. ネットいじめ劇の上演

今回は大学及び中学校での演劇活動を取りあげたが、演劇は他者の気持ちの理解や自己の気づきにもつながる有効な手段である。将来に向けての豊かな自己形成にもつなげられる活動であり、今後も学校現場では、多様な形態で自己を表現する演劇的な活動を、積極的に仕掛けていく必要があると考える。

最後に、A市において平成30年に上演した「幕があがるまで」のシナリオを紹介する。

この作品は、文化祭で行う「風に立つライオン」という劇の上演をめぐる、ある学級に起こったいじめを取りあげている。劇の配役選びを皮切りに、生徒たちのなかに生まれる不協和音。それはやがてネットいじめへと発展していく。昨今はネット上でのいじめも加わり、教師も保護者も実態を把握しにくい状況がうまれているが、いじめの事象には、生徒たちが日常的に使うTwitterやLINEの中で起こるものを描いた。

この劇では、生徒たちが文化祭で舞台発表する「風に立つライオン」を演じる場面が一部劇中劇として登場する。長崎大学熱帯医学研究所からケニアに派遣され、医療活動に従事した実在の医師の話がもとになっているこの「風に立つライオン」。この作品は、2015年には映画化され、現在では中学校の道徳の教科書にも取りあげられている。

「幕があがるまで」

<登場人物>

川野 直人	後期学級委員 主役を務める
濱崎 壮太	いじられキャラだが人気者
木村 皓太	村長役
中村 遼也	普通の生徒
山崎 万宙	やんちゃな生徒1
谷村 勇志	やんちゃな生徒2
澤田 緑	後期学級委員、台本担当。学級をよく思っていない
吉川 恵	主役に抜擢される転校生。不登校になる
大場 恭子	前期学級委員・クラスで中心的な子
西崎 直美	吉川をねたむ生徒 大場のことが大好きな生徒
石垣 里英	個性的な生徒 ツイッターのうわさを広める
そのほか (正岡 鎌谷 前川)	ちょっとやんちゃ生徒3人
(上野 松田 若原 辻川 野村 岸本)	普通の生徒6人
先生	担任
DJ	第1幕のみ登場するディスクジョッキー
※	Sはシーンとする

第1幕

S 幕前 開演ブザー

暗転

(オープニング) 放送しているセット前

DJ ミッチー、こんにちは。初めてのお便りします。有難うございます。私たちの文化祭がいよいよ明日幕を開けます。実は、この日を迎えるまで、ハラハラドキドキの連続でした。というのも、劇をすることで日頃の友達関係がギスギス・・・ギスギス。ネットいじめも起こり、ほんとどうしたらいいか困ってました。そんな時、新聞で・・・私は次の言葉を見つけたんです。

(スクリーンに次の言葉が映し出される BGM) しみじみと読み始める DJ。

「孤独な時に考えてごらん。今の自分がカッコいいかどうか。どんな大人になりたいのか。いじめられている友達の顔も思い浮かべてごらん。そこで考えた結論が、「大人の君」を決定づけるかもしれない・・・。」と。

スクリーン上がる

第2幕

S 教室 授業風景

チャイムが鳴る

川野 では、多数決で・・・3組は、この「風に立つライオン」に決まりました。
濱崎 え～まじ。
石垣 決まったことにブチブチ言わない！
濱崎 これって真面目っていうか、硬いだろ。俺的には、もっとおちゃらけた方が好みなんだけどなあ・・・。
松田 壮太が、主役ってわけでもないんだし・・・。
野村 去年だって、木の役だったじゃない。
岸本 あれ、キャストだった？（笑う）
松田 壮太！（台本を見ながら）壮太にぴったりの役、今回もあるよ。
濱崎 何だよ？
松田 病院前にある郵便ポスト。
濱崎 はあ？
前川 郵便ポストなら、ずっと舞台に出ずっぱりだし・・・。
野村 出演時間が、主役より長い！
山崎 全身を真っ赤にしてさ。一番目立つかもな。

皆笑う

濱崎 ちえっ、みんなで、俺をいじってりゃいいよ・・・。
谷村 先生、配役はいつ選ぶんすか？
上野 希望、とりますよね。先生。
先生 希望もとるけど、今回のこのシナリオ、書いてくれた澤田さんの意見もきかないとね。澤田さんのイメージもあるだろうし・・・。その方がいいよね。澤田さん。
澤田 は、はい・・・。
先生 最終的には実行委員で配役を決めることにして、・・・澤田さんと川野君、あなたたち学級委員でオーディション、いつするとか、放課後相談してくれないかな。
川野 わかりました。
先生（チャイムが鳴る）じゃあ、今日はこれまで。今日の掃除は2班、さぼらないでよ。
川野 起立 礼（みんな挨拶する）

掃除を始める。大多数（次の場面で台詞のない）の生徒は帰る。澤田と川野は相談中。

西崎 恭子、恭子はもちろん出るでしょ。
大場 どうしようか～。（まんざらでもない）
松田 恭子は絶対出なきゃ・・・。
西崎 2年の時だって、恭子、めっちゃくちゃうまかったじゃん。
吉村 そうなんだ！
石垣 あの劇・・・面白かったよね。
吉村 見たかったなあ、わたし。
大場 恵は出たことある？

吉村 ううん。前の中学では、文化祭がなかったから・・・。
石垣 文化祭がない学校ってあんの？
吉村 うん、だから劇をするのって、小学校の学芸会以来。
大場 ふ～ん・・・。で、恵はどうする？
吉村 駄目もとで・・・受けてみようかな、オーディション。
大場 いいんじゃない。やってみたら・・・。
西崎 (台本を見ながら) 恭子は、医者の友達になる先生役が、ぴったりだね。
大場 これって、主役でしょ。ちょっと荷が重いな。
西崎 いけるよ。恭子なら・・・。
吉村 私もそう思う。
大場 (肩をすくめる) 直美はどうする？
西崎 私？私は無理。皆の前で演技するなんて、絶対いや。大道具やりま～す。
谷村 俺も大道具。任せなさ～い。
木下 俺は・・・この・・・主役の医者をやってみようかな・・・。
谷村 お前・・・本気で言ってる？
鎌谷 やめとけ、やめとけ。お前は・・・主役って顔じゃない。
木下 そうかなあ。いけてると思うけど。
谷村 思ってるのはお前だけ。
石垣 ねえ。もし、ここで頑張ったら、先生、内申にそのこと書いてくれるかもね。
野村 だったら、私も出ようかな。
松田 せこいこと言うわね・・・。
川野 どうせやるなら、やりきろう。これが終わったら受験しか残ってないんだし。
西崎 ほんと、それ。

掃除を終え、帰りかける澤田

野村 ね、澤田さん、配役はどうやって決める？
澤田 まず、希望とった後、オーディションして・・・最終的には投票ってのはどうかな。
松田 賛成！

皆口々に話している。

暗転 放課後のBGM

S 教室

川野 ...ということで、皆の推薦により、濱崎君には、劇の監督をやってもらいます。
拍手される濱崎、照れている。
谷村 おい、壮太。ポスト役はいいのかよ？
濱崎 谷村・・・お前やる？やるなら採用するよ、人間ポスト。
谷村 嫌だよ。主役ならまだしも、真っ赤な顔して舞台に立つなんて、俺のキャラには合
いませ～ん。
皆笑う。

辻川 壮太、期待してるわよ。
中村 うまくまとめるよ。(嬉しそうにうなづく濱崎)
澤田 では、最後に・・・主役の医師と学校の先生ですが。
木下 うわ〜ドキドキ！（胸をおさえている）
澤田 医師役は・・・川野君です。
 誰か口で笛を鳴らす。みんな拍手
木下 くっそ〜。(泣く真似)
澤田 木下君には、タスク村の村長さんの役をやってもらいます。
木下 (顔を上げて) 村長！
上野 村の皆のことを考える好好爺のマルガ村長・・・。
木下 好好爺って何だよ。親孝行でもすんのかよ。
松田 人のいいお爺さんってことよ。
谷村 木下がじいさん・・・なるほど。
前川 ナイス、キャスティング！

みんな笑う。頭を搔き、まんざらでもない木下
澤田 そして・・・主役のこの医師を支える学校の先生役は・・・
 みんな、恭子の方を見ている。うれしそうな恭子。
澤田 吉村さんです。
 皆のびっくりした顔。
 暗転
 LINE (配役に対して次々と驚きの意見が出てくる)

S 教室

病院セットの前で、劇の場面を演じている。
吉村 この前、草原で風に向かって立つライオンを見たんですが、なぜか・・・先生のイメージとだぶりました。
川野 ぼくと？・・・なんでだろ？
吉村 毎日、銃や地雷で負傷した人たちが次々運び込まれて、とても大変なのに、先生はくじけず仕事をされてるでしょ。・・・先生はなぜアフリカに留まってるんですか？日本に帰れば、大きな病院に勤めて・・・何の心配もないでしょうに・・・。
川野 (笑いながら) 先生だって、なぜ日本に帰らないんです？・・・確か・・・もう
吉村 3年です。日本で中学の教師をしている時は、テストの点をあげるのに必死で、いじめだ、受験だって、正直、心が押しつぶされそうで・・・。でも、ここでは、そんなことは全く問題にならないですから・・・。
川野 ・・・・。(頷く)
吉村 先生は・・・フラミンゴが一斉に飛びたつ時を見たことがありますか？
川野 フラミンゴ？
吉村 空が真っ黒になるんです。フランミンゴが一斉に飛び立つ瞬間って・・・ほんと感動

的で。

川野 (頷き) 僕はここにきて・・・良かったと思ってるんです。ここは熱帯なのに、あのキリマンジャロには、氷河もあり今も雪が降っている。でも、温暖化で何年後かには消えるとかも言われていて・・・。今、自分がやれることをやろうって、あの山から勇気ももらって、毎日生きてる感じがします。

濱崎 カット！いいな。とってもいい。・・・泣けてきた。(泣いている)

松田 あんたが泣いてどうするの。

上野 観客に泣いてもらわないと！カントク。

皆笑う。

濱崎 澤田・・・お前的には・・・どう？

澤田 まあ、まあ・・・かな。

若原 緑も初めは不安ばかりってツイッターに書いてたけど、最近は、結構満足してるんでしょ。

松田 ツイッター？

若原 澤田さんの・・・私も見てる。練習のことが出てて、凄く共感できるんだ。

松田 へえ、私も見てみよう！

若原 ねえ、澤田さん、今の調子だと・・・うちのクラス、学年の代表に選ばれるかな。

澤田 (そっけない感じで) どうだろ・・・。

木下 8クラス中、文化祭本番で発表出来るのは、ひとクラスだけなんだろ。

中村 熾烈な争いだな。

松田 絶対選ばれるよ。こんなに頑張ってるんだから・・・。

若原 でも、隣の4組は、この前の日曜日もみんな学校に来て練習してた。

松田 どのクラスも必死だよ。

上野 (うなずいて) 最後の思い出作りだもんね。

川野 じゃあ、もうひと踏ん張りするとするか。

澤田 発声も兼ねて・・・、次はグラウンドで練習しよう！

濱崎 じゃあ、この集会場でのマルガ村長の演説のシーンから練習しようか。木下、お待たせ。お前の出番で～す。

木下 任せとけ！(胸を叩いて、おじいさんになって、よぼよぼと歩き出す)

上野 おじいさんになるのは、グラウンドに出てからでいいんだよ。

急に背を伸ばして歩き出す木下。その様子を見て皆笑いながら移動している。

吉村 澤田さん、私は、このあとの台詞、まだ覚えてないから・・・完璧に覚えてから言ってもいい。

澤田 わかった。

皆出ていく。一人練習を始める吉村。一足先に早く戻ってきた恭子がのぞいている。

吉村 私・・・この村に来て、救われました。子どもたちは、・・・なんであんなキラキラした瞳をしてるんでしょう。日本人が忘れてしまったものがここにはあるなって

思うんです。ここで生活していると、生きるってのは、こういうことだよって、逆に子どもから教わるみたいで……。こんな幸せを感じる場所は、地球上、どこを探しても、ないんじゃないかな……。(遠くを見ている)

大場 (間をおいてパチパチ拍手しながら) 頑張ってるじゃん。

吉村 いつからいたの。

大場 いたよ、さっきから。私が来たのにも気付かないほど、恵・・・役に集中してたね。

他のメンバーも入ってくる

西崎 (入ってくる) あ～あ、疲れた。

吉村 御苦労さま……。

西崎 (嫌味っぽく) 御苦労さまじゃないわよ。下働きはつLINE だから……。

たじろぐ吉村

谷村 病院はいいとしても、アフリカの大地って・・・どうしたらいいかな。

岸本 壮太もさ……。広大な草原を表現しろだなんて・・・簡単に言ってくれるよね。

鎌谷 無理な注文。

石垣 草を・・・大量に作るとか……。

谷村 石垣、お前、発想が貧困なんだよ。

石垣 だったら、あんたがアイデアを言いなさいよ。

みんなで言い合いをしている。

大場 恵……。他のみんなは？

吉村 グランド。台詞の練習しにいった。

野村 恵は、何で行かないの。

吉村 私は、台詞を完全に覚えてないから……。澤田さんの台本って、ころころ変わることがあって、昨日だって、違う台詞がLINEで急に送られてきて、覚えるのもけっこう、大変で……。

石垣 なに、その言い方……。

西崎 主役なんでしょ。頑張りなさいよ。

野村 投票では、恭子の票の方が多かったとか聞いたけど……。ほんと？

みんな驚いている

西崎 恵はさ、自分から選んでって、澤田さんに頼んだの？

吉村 そ、そんなことしてない。

西崎 じゃあ・・・なんで、あんたがこんな大役に選ばれるのよ。

鎌谷 俺は、てっきり大場が選ばれるものだって思ってた。

西崎 だれだって、そう思ってたわよ。

吉村 そ、そうだよ。 (うなずき) 恭子の方がぴったりだもんね。

西崎 だったら、おりる？

吉村 えっ……。 (困ったように)

西崎 辞める気もないくせに、そんなこと、言わないでよ。恭子だって傷ついて……。

大場 やめなよ。
谷村 こわい。こわい。
山崎 西崎！お前の顔・・・強張ってるぜ。
石垣 まあ、私たちはせいぜい大道具で頑張ろう。直美。
松田 (入ってくる。戸口で) 恵、澤田さんがもう台詞覚えたかって言ってるよ。グラ
ド、来られる？

うなずいて松田と出ていく吉村

野村 恵ってさ・・・あんな変わり身の早い奴とは思わなかったな。
正岡 変わり身が早い？
野村 あんなに恭子と仲良かったのに、最近は、澤田さんとくっついてるじゃん。
西崎 変わり者の澤田さんとなら、お似合いよ！
正岡 澤田と一緒にというより・・・浮いてないか。
谷村 だよな。
石垣 恵ってさ、前の学校でも、しょっちゅうグループからはみられてたらしいよ。
岸本 そうなの？
野村 何でそんなこと知ってるの？
石垣 恵の前に行った学校って、橘中でしょ。
岸本 うん。
石垣 橘中の3年生が書いたツイッターに、恵の悪口・・・出てるんだって。
山崎 転校したのに、まだ書かれるのか。こわ！（胸をクロスに手で押さえる）
谷村 おれ・・・そんなの書かれたら・・・学校来れませへん。
正岡 石垣、お前、そのツイッターのこと、なんで知ってた？
石垣 橘中に従妹がいるのよ。そのツイッター、橘中の生徒は結構、見てて・・・そこ
では恵、めちゃくちゃに言われてるらしいよ。
岸本 なんていうツイッター。

みんなでひそひそ話し始める。

暗転

橘中のツイッター（恵の悪口）がスクリーンに流れる。

S 教室

一人ぼっちの吉村の様子。周囲は完全無視。机の上にゴミ。

暗転

S 幕前

ツイッターの内容を受けて、続いてクラスのLINEがスクリーンに流れていく。
学校から帰る途中、クラスのLINEを見て、呆然として立ち止まる恵。

S 教室

先生 吉村さん、今日も休みだけど、・・・放課後の練習は・・・どう？
澤田 なんとか・・・やってみます。

先生 (うなずいて) 本番の発表も近いんだし、やるしかないわね。で・・・誰か、吉村さんに今日の進路説明会のプリント届けてくれないかな。急ぐ知らせなんだけど・・・

川野 先生、ポストでもいいですか。

先生 もちろん。

川野 じゃあ、おれ、帰り道だからに入れておきます。

先生 助かる！川野君、ありがと。(出ていく)

上野 澤田さん・・・どうする。練習。

澤田 もちろんやるわよ。

川野 さあさ・・・。練習・・・練習・・・っと。(みんな立ち始める)

松田 一週間後が本戦だって言うの、恵・・・わかってんのかな。

岸本 こんなんで、幕・・・あげられる？

石垣 こうなったら、恭子が恵の役、やったらどうかな。あの役、もともと恭子の方が選ばれてたんだし・・・。

岸本 ほんと！恭子、やったら。

大場 嫌だよ。大道具もやっと軌道に乗ってきて、結構気に入ってるんだから・・・。

濱崎 困ったな・・・。

西崎 恭子、やりなよ。大道具は、私たち、他のメンバーに任せてさ・・・。

暗転

S 教室

病院セットの前で劇の場면을演じている。

大場 先生、この子どもたちは、いつも・・・なんであんなきらきらした瞳でいるんでしょう。生きてるっていうのは、こういうことだよって、逆に子どもから教わるんです。こんな幸せを感じる場所は、地球上でどこを探しても、ありません。

濱崎 カット

西崎 さっすが、恭子！昨日言われて、一日でほとんどの台詞覚えてくるんだから・・・。

鎌谷 これで決まりだな。

正岡 誰かさんが来なくても、いけるいける！

谷村 今からでも大丈夫なんだったら、俺もどこかで出してもらおうかな。

鎌谷 壮太、ポストの役、復活させろよ。俺・・・やってもいいぞ。

野村 私は通行人でも、いいから出たい！

みんな口々にわあわあと言っている

濱崎 やめろよ。役変われだの、出たいだの、こんなピンチの時によく言うよ。俺、監督、やめる。もう・・・降りるよ。

岸本 何言ってるのよ。壮太。

谷村 みんなで盛り上がってるのに、なに勝手なことを言ってるんだ。

西崎 恭子だって、急にバトンタッチ言われて必死に覚えてきたんだよ。

松田 壮太も最後まで頑張ってるよ。

濱崎 大場の頑張りは認めるよ。でも・・・でもな。
岸本 何よ。
濱崎 初めは俺も、なんで吉村なんだって・・・そう思ってたよ。でも、あいつ・・・あいつがさ・・・台詞を言っていると、ほんとにアフリカの大地が見えてくるんだ。

間

若原 確かに・・・演技してる時の恵って別人だった。
辻川 それは・・・みんな感じてたかも・・・。
濱崎 吉村、相当練習してた。それなのに来ないからって、あいつのこと簡単に切り捨てていいのか？
山崎 でも、もう時間がないぜ。
西崎 恭子で十分いけるんだし、それでいこうよ。
大場 十分じゃないよ。さっき私がやった台詞の場面、恵がやっているのを、私、一度見たことがあるんだ。あの場面・・・私も好きで、昨日も家で何度も練習してみたんだけど、やればやるほど、あの時の恵が浮かんで・・・やっぱりあの役は恵がベスト！・・・そうなんだよ・・・きっと。
濱崎 大場、誤解しないでくれよ。俺は大場が下手で、吉村の方がうまいって言ってるわけじゃないんだ。棒読みの吉村があそこまでうまくなったのも、めちゃくちゃ陰で練習したってことだろ。それなのに・・・あいつのこと、まるで初めからいなかったように、練習続けるこのクラスって何なんだ！
木下 でもさ・・・今から来るか～吉村の奴。
前川 吉村に声かけられる奴なんて・・・いないしな。
中村 前の学校で嫌われ者だったって言う、例のツイッター、あれがダメなんだよ。
松田 インパクトあったもんね。
辻川 あれに惑わされた？私たち・・・。
野村 あれで、恵のこと、嫌～な奴って、私・・・思いこんじゃった。
鎌谷 それまでは・・・ただの目立たないだけの奴だったのにさ。
若原 ネットは怖いよ～。うわさが独り歩きするだろ。
石垣 実はさ・・・皆に言おうと思ってたんだけど、あのツイッター、怪しいのよ。私たち、だまされてみたい。
野村 どういうこと～。
石垣 従妹が言ってたんだけど、あのツイッター、橘中の生徒のものじゃないって。
大場他 えっ～（それぞれの反応）
石垣 あの中に、クラブのことが出てくるんだけど、橘中にはもともとバドミントン部はないのよ。それなのに、今度のバト部の試合がどうか書いてて・・・。従妹が言うには、そんなことを知らない誰かが、橘中の生徒になりすまして、書いてるって。
若原 （悲しそうに）なんでそんなことするのかな。
山崎 そりゃあ・・・吉村のこと、よく思っていないやつが吉村を貶めるために・・・。

前川 わざわざ・・・そんなことを？
石垣 もしかして・・・このクラスの誰かだったりして・・・。
鎌谷 吉村のことを嫌ってる奴のしわざだな。
谷村 まさか、お前じゃないよな。
西崎 違う。違うわよ。なんで私なのよ。変なこと言わないでよ。
谷村 俺、冗談でいったのに・・・お前・・・顔が真っ赤～！
西崎 違う！違うって言うてるでしょ。(真っ赤になって出ていく)
大場 直美！（追いかける）
谷村 なんだ、あれ。
山崎 あれじゃあ、私がやりましたって言うてるみたいに見えるじゃないか。なあ。
木下 あいつなのか？・・・吉村のこと確かに目の敵にはしてたけど・・・。
若原 転校してきた恵に、恭子をとられたって、直美は思ってるからね。
中村 初めは結構3人で仲良くしてたように、俺には見えてたけど・・・。
石垣 女子の3人グループって微妙なんだよ。3人のうちで2人で話していると、もう1人はなんか置いてきぼりされたみたいな気分になって、すごく嫌なものなんだ。
谷村 は～？（手を横にあげて大げさに）そういうのって。わかんねえ・・・。
石垣 わからないだろうね、あんたには。一生無理！
野村 女子って、心がガラスなのよ。
岸本 男子みたいにお気楽じゃないんだから・・・。
山崎 それよりさ、吉村を選ぶなんて澤田、よく見ぬいたよな。お前の抜擢にはびっくり。
正岡 おれも、それには感心してた。
澤田 ……。(下を向いている)
若原 恵があそこまでうまくなるなんて、誰が想像する？
石垣 じゃあ、ここまで劇が仕上がったのも、緑の抜擢のおかげってことかな。
澤田 私は、もともと・・・か、かるい気持ちで言うか・・・。そんなに考えて選んだんじゃ・・・。
(おどおどしている)
川野 おれは、ずっと不思議に思ってたんだ。実行委員で配役を決める時、澤田・・・お前、投票をいじって、吉村を指名したよな。なんでだろうって・・・おれ・・・ずっと・・・。
山崎 いじった？澤田が！
正岡 なんで吉村だったんだ？
山崎 大場が気に入らないとか・・・。
若原 そんなことあるわけないでしょ。
木下 (軽い感じで) じゃあ・・・この劇をむちゃくちゃにしたかったとか・・・。
濱崎 (信じられない感じで) な、なに言うんだよ。木下。
岸本 どうなの、澤田さん？
谷村 なんとかいえよ。澤田。
澤田 (観念したように) そう！この劇をつぶしたかった。だから、恵を選んだ。棒読み

だった恵を。

(衝撃の音)

若原 うそでしょ。緑。

辻川 ひどいよ！

中村 俺達、この文化祭にかけてるんだぜ。

澤田 だからよ・・・。

ただならぬ気配を感じながら・・・戻ってくる大場

辻川 どういうこと？

澤田 みんなは覚えてないよね。修学旅行で、部屋やバスの席を決める時、私はいつもあまりもの。修学旅行って、皆にとって最高の思い出でしょ。でもね、私にとってあの旅行は最低だった。バスの中も一番前の席で、後ろから聞こえてくるみんなの楽しそうな声聞きながら、私は一人座ってた。みんなが和気あいあいと楽しそうにお土産を買っている時だって、私はずっと一人・・・。

若原 気づかなかった。緑は1人なのを気にしてないって・・・。

辻川 皆と群れるのが嫌なんだって・・・思ってた。

澤田 みじめだったあ・・・！修学旅行で1人って、どんなに寂しいか、わからないでしょ！

上野 それで恨んでるの、このクラスのみんなを。

岸本 だからって、私たちの大事な劇をぶっ潰すなんて・・・。

松田 ひどいよ。緑！

澤田 (笑) 普段、自分勝手なクラスが、行事の時だけまとまって思い出つくろうなんて・・・おかしくって・・・確かに劇をつぶそうとした私は最低だよ。でもね。私よりひどいのは、あんたたちでしょ。LINEで盛り上がり、人を傷つけて・・・あんなこと書かれた恵が来なくなって・・・やっぱりなあ・・・このクラスらしいって・・・私は・・・ずっと思ってた・・・。

木下 あんなふうにかかれたら、学校に来られないよな・・・。

正岡 あれだけエスカレートする時、どうとめたらいいのか、おれ・・・わかんないよ。

石垣 自分が関わると今度は自分が何か言われそうだなもんね・・・。

野村ほんと、それっ！

濱崎 (吐き捨てるように) 終わってる、このクラス！

川野 そんなこと言うなよ。濱崎。今までお前も・・・みんなも頑張ってきたんだから・・・。

間

澤田 恵ってさ・・・私がわざと台詞をころころ書き変えても、次の日にはきちんと覚えてくるんだよね。彼女、必死だった。それにつられるかのようにクラスの雰囲気も変わりだして・・・私までそのうち、本戦に残ることを考えるようになって。揺れてたんだ・・・私・・・そんな頃だった。例のツイッターに皆の注目が集まるようになって・・・恵はどうとう来なくなった・・・。

大場 直美ね。まさか不登校になるとは思わなかったって・・・。別のアカウント使って、

自分ってわからないように、初めは・・・軽い気持ちで・・・恵の悪口書いたらしい。

野村 直美が・・・そっか。

大場 あの子、今、号泣して話になんないの。いつもずけずけ言うから誤解されるんだけど、ほんとは気が小さいんだ。ちょっとした悪口のもりもりが、あつという間に広がって、自分でも・・・どうしようって思ってたって・・・。

山崎 そんなふう思うんだったら、初めっから・・・やらなきゃいいんだよ。

若原 確かに、直美のやったことは良くないけど、私たちだってさあ・・・

松田 (うなずいて) ネットの内容を鵜呑みにして、みんなで恵を無視してたんだし・・・。

澤田 恵が不登校になる前にね。私さ・・・塾へ行く途中で、彼女・・・見かけたんだ。近くの公園でいる恵。もう暗くなるのに・・・あの子・・・ブツブツ言いながら一人で台本、読んでた。

暗転

S 公園 少し離れたところで、澤田が見つめている 2人スポットライトのみ

吉村 紺碧の空に浮かぶキリマンジャロの雪、草原を吹き渡る大地の風って・・・どんなんだろうね。この話、どんなにつらいことがあっても、人のために頑張るって、こんなにもやりがいあるぞって教えてくれる話でしょ。やってて・・・私、いつも勇気が湧いてくるんだ。もっとうまくやってやろう・・・明日も頑張るぞって・・・でもね・・・役をやるのも嬉しいけど、みんなが私を選んでくれたのが一番嬉しい！転校してきた頃は不安だったけど、こんな素敵な仲間にもまれて・・・今はこの桜中で卒業できるのが、良かったなって思ってる。素敵な台本書いてくれて、澤田さん、ありがとう。だから・・・私・・・明日も・・・。

暗転

S 教室

みんなしばらく黙っている

澤田 馬鹿だな・・・恵。私がわざと変えてる台詞を・・・毎日毎日必死で覚えてきてさ。(下を向く)

上野 でも、緑が書いてくる台詞はすてきだよ。恵も言ってたけど、勇気がわくってのは・・・本当だから・・・。

前川 この劇は、日本のことを想いながらアフリカで頑張った医者のお話か？

野村 確か・・・歌もあるよね。その頑張る姿が、風に吹かれながら独り立ち続けるライオンの様って、

松田 「風に立つライオン」・・・だよ。私も聞いたことある。

川野 設備もない病院で人を助けられなくて、くじけそうになった主人公が、大地に向かって「ガンバレッ」って自分を励ますシーンがあるだろ。それを何度も何度も演じてるうちに、風を受けながらさ、遠くを見据えて立ってるライオンの姿が、目に浮かぶんだ。

石垣 かっこいいね。群れるわけでもなく・・・堂々と生きてて・・・。

濱崎 俺達とは正反対・・・

木下・・・けど、今からでも頑張ろうよ。村長としての命令！

川野 村長、よくいった！

中村 やるよ、おれ！

若原 私も・・・

大場 幕をあげるまで！

川野 (うなずいて) クラスみんなで。一週間後！
みんなうなづく

濱崎 カット。いいな。泣けてきた。

野村 壮太、わかっている、これは演技じゃないんだよ。

濱崎 わかっているさ、それくらい・・・。(泣いている)

みんなで笑う

野村 あ～・・・星が出てる・・・。

松田 もうこんな時間？

大場 川野君、今日プリントを届けるって言ってたよね。私も一緒に行っている？

川野 もちろん。

木下 俺も一緒に行くよ。

谷村 俺も

皆、口々にいいあう。

澤田 私も行っていいかな。私の今の気持ち、いわなきゃ・・・。恵がいないとこのクラスの幕はあげられない・・・。

大場 うん。

思い思いに夜空を見つめるクラス生徒。

暗転

エンディング 出演者の礼 (スクリーンに流れる出演者紹介)

参考・引用文献

- 1) 平田オリザ・蓮行 (2009) 「コミュニケーション力を引きだす」 PHP 新書
- 2) 中野民夫 (2001) 「ワークショップー新しい学びと創造の場ー」 岩波新書
- 3) 小林由利子 (2006) 「イギリスのドラマ教育の考察(11)ーJonathan Neelands の実践を通して(I)ー」川村学園女子大学研究紀要, 17(2)
- 4) 富田 幸子 (2020) 「いじめ撲滅劇の取組が参加生徒に与える影響ーM-GTA (修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ) による質的実証研究ー」日本特別活動学会紀要 28 (0),